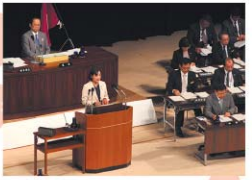
# おはら舞ニュースレター My Wave No.4



舞鶴市総合文化会館大ホールでの代表質問

迎春の候、皆様にはおはら舞の議員活動に対しましてご理解・ご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年9月には、史上初となる舞鶴での京都府議会本会議にて833名もの多くの傍聴者が来られた中で代表質問をさせていただきました。本年も、地域を歩き、皆様のお声をうかがい、現地現場を見て感じた切実な課題の解決に向けて引き続き取り組みます。

今年も変わらぬご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 代表質問の一部です。

京都舞鶴港のポートセールスの切り札にもなり得る時代に即した誘致活動のための立地支援策についてどのように考えているのか。

**知事からの答弁**　舞鶴港振興にも資する企業立地促進条例の改正を検討している。京都舞鶴港は、物だけでなく、人やエネルギーにおいても戦略的拠点になる。

来年度の特定鳥獣保護管理計画の策定を機に、鳥獣被害対策をさらに強力的に進める必要があると思うがどうか（適正な個体数把握と管理の具体策、見直しの方向性について）。

**知事からの答弁**　もう一度正しい生息数をしっかりと把握して、それに基づいてかなり捕獲を増やして年間捕獲目標数を再設定しなければならないと思っている。
農家にとっては生き死に係る問題であり、そうした自覚を持って取組を進めていく。

晩婚化・晩産化を背景に「育児と介護のダブルケア」問題について、その実態と今後対応すべき取組みについてどのように考えているのか。

**知事からの答弁**　京都府内でも4,500人程度との試算があり、男性の9割、女性の5割以上が仕事を持っており、負担緩和の仕組みが今後重要になってくる。府民調査等による実態把握の実施、介護・育児両方の相談をワンストップで応じる態勢整備に取り組む。

京都府庁にて

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

京都府議会議員 小原舞 拝